

Office2013 インストールマニュアル

2014年7月14日

神戸大学 情報基盤センター

このマニュアルは九州大学情報統括本部より提供いただいたマニュアルをもとに作成いたしました。



[This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 2.1 Japan License.](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/)

改訂履歴

—	改訂日	改定内容
第1版	2013年7月16日	新規作成
第2版	2014年7月14日	「Windows XP」に関する記述を削除
		「STEP2-1 新規インストール」の手順1に文言追加 「※対象のOSに既にOfficeがインストールされている場合は、STEP2-2「アップグレード」へ進んでください。」
		「STEP2-2 アップグレード」の手順1に文言追加 「※対象のOSにOfficeが入っていない場合は、STEP2-1「新規インストール」をご覧ください。」
		「STEP3-1 DNSサフィックスの追加」の手順6にIPアドレスに関する補足コメントを追加

目次

STEP1 インストールの前に

インストールの前に	...	1ページ
-----------	-----	------

STEP2 インストール

新規インストール	...	2ページ
アップグレード	...	5ページ

STEP3 ライセンス認証

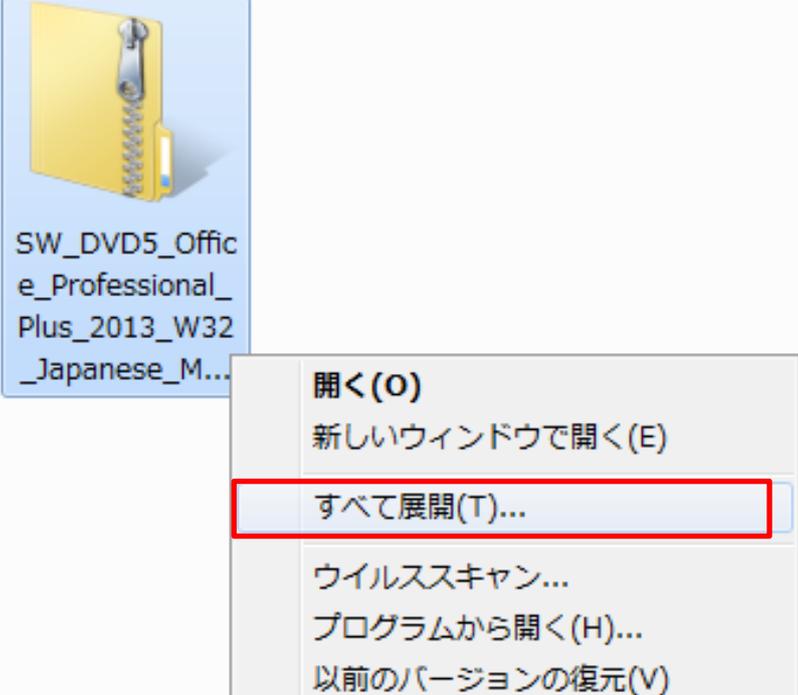
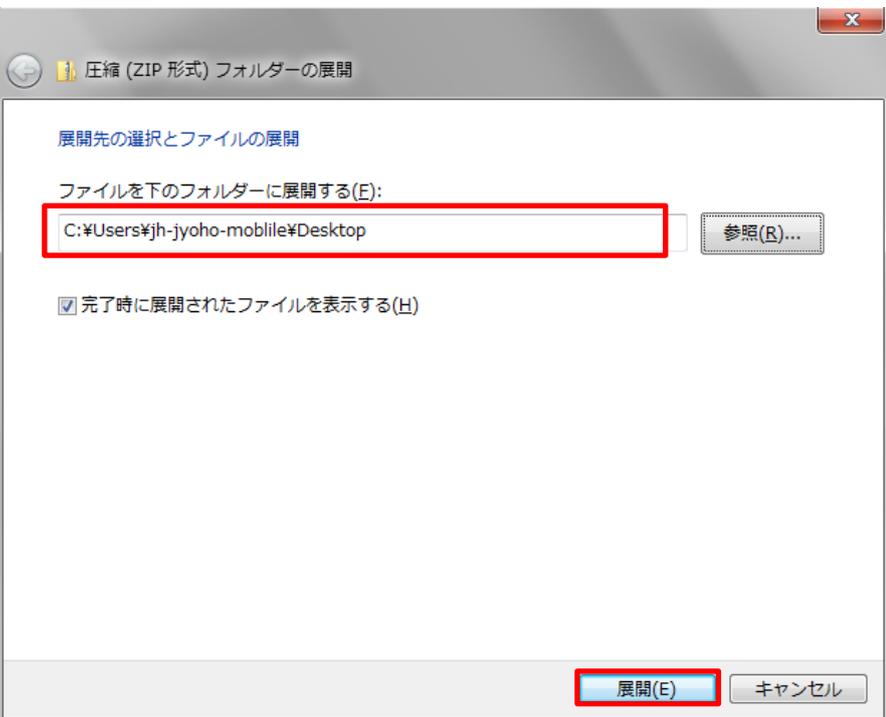
1. DNSサフィックスの追加	...	8ページ
2. ライセンス認証の確認	...	12ページ

※ Office 2013 の対応OSは Windows8, Windows7 です。Windows Vista には対応していませんのでご注意ください。

※ Office 2013 には 32bit版と 64bit版があります。インストールするコンピュータでどちらの Windows を実行しているか確認してください。

(参考)Microsoft Office の 32 ビット版と 64 ビット版を選択する
<http://office.microsoft.com/ja-jp/word-help/HA010369476.aspx>

STEP1 インストールの前に

 <p>SW_DVD5_Office_Professional_Plus_2013_W32_Japanese_M...</p> <ul style="list-style-type: none">開く(O)新しいウィンドウで開く(E)すべて展開(T)...ウイルススキャン...プログラムから開く(H)...以前のバージョンの復元(V)	<p>手順1 ダウンロードしたZIP形式の圧縮ファイルを右クリックして、「すべて展開」を選択します。</p>
 <p>圧縮 (ZIP 形式) フォルダの展開</p> <p>展開先の選択とファイルの展開</p> <p>ファイルを下のフォルダーに展開する(E):</p> <p>C:\Users\%jh-jyoho-mobile\Desktop</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 完了時に展開されたファイルを表示する(H)</p> <p>展開(E) キャンセル</p>	<p>手順2 保存先を選択し、「展開」をクリックし、解凍します。</p>

STEP2-1 新規インストール



手順1

解凍し作成されたフォルダの中にある「setup.exe」アイコンをクリックします。

※対象のOSに既にOfficeがインストールされている場合は、STEP2-2「アップグレード」へ進んでください。

手順2

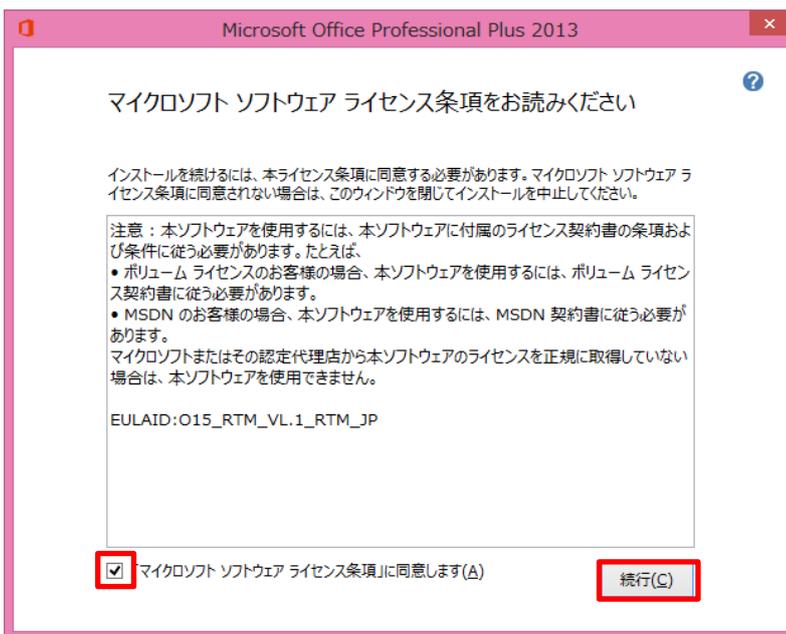
「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「はい」をクリックします。



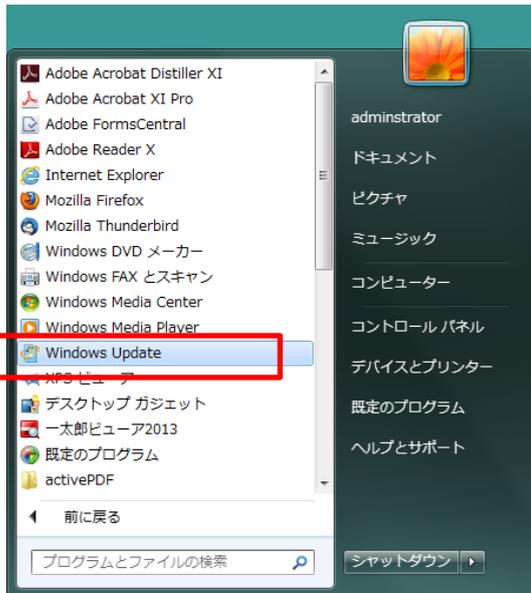
手順3

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを入れ、「続行」をクリックします。

次の画面が表示されるまで、2～3分かかります。



	<p>手順4 「今すぐインストール」をクリックします。</p>
	<p>手順5 インストールが開始します。 インストールが完了するまで5分程かかります。</p>
	<p>手順6 「閉じる」をクリックします。 これで新規インストールは完了です。</p>



手順7
インストールしたOfficeを最新の状態に保つため、Windows Updateを実行します。



手順8
インストールの完了後は、ダウンロードしたZIP形式のファイルと解凍し作成されたフォルダを削除します。

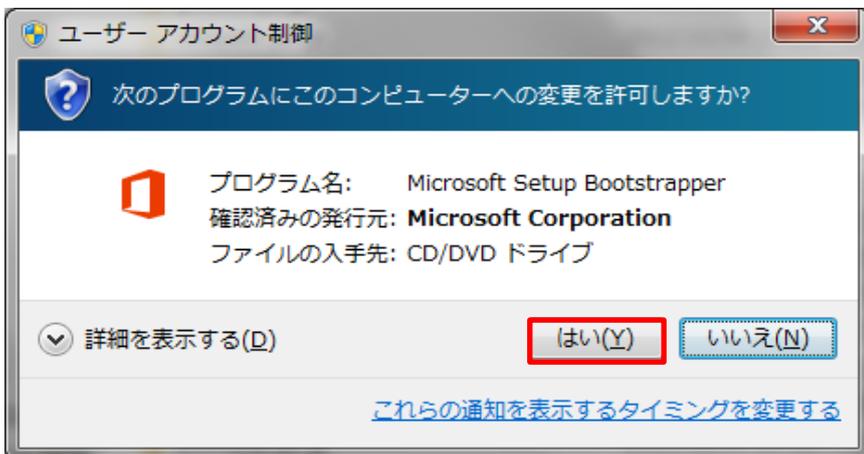
STEP2-2 アップグレード



手順1

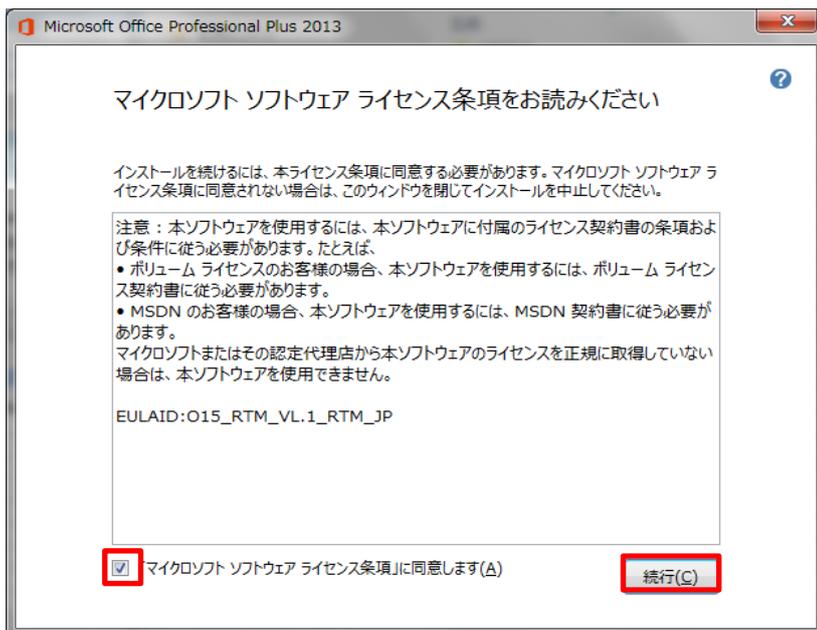
解凍し作成されたフォルダの中にある「setup.exe」アイコンをクリックします。

※対象のOSにOfficeが入っていない場合は、STEP2-1「新規インストール」をご覧ください。



手順2

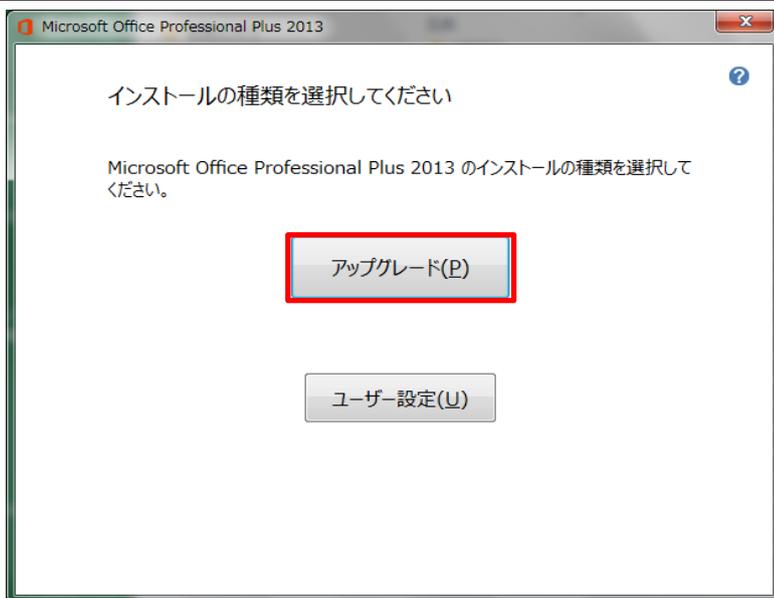
「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「はい」をクリックします。



手順3

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを入れ、「続行」をクリックします。

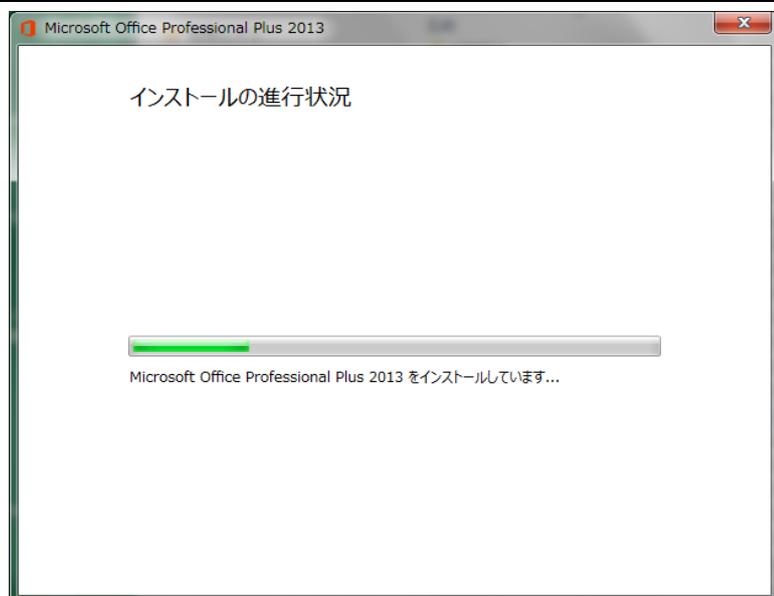
次の画面が表示されるまで、2～3分かかります。



手順4
「アップグレード」か「ユーザー設定」の何れかをクリックします。

※アップグレード
既存のOfficeを削除して新たにOffice2013をインストールします。

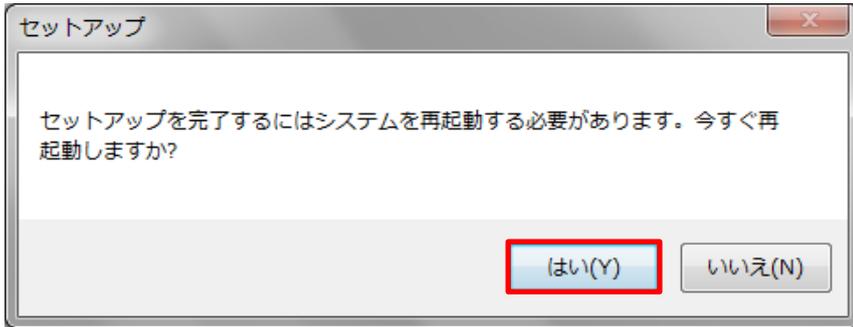
※ユーザー設定
以下の3項目から選択できます。
・以前のバージョンをすべて削除する
・以前のバージョンをすべて残す
・削除するアプリケーションを指定する



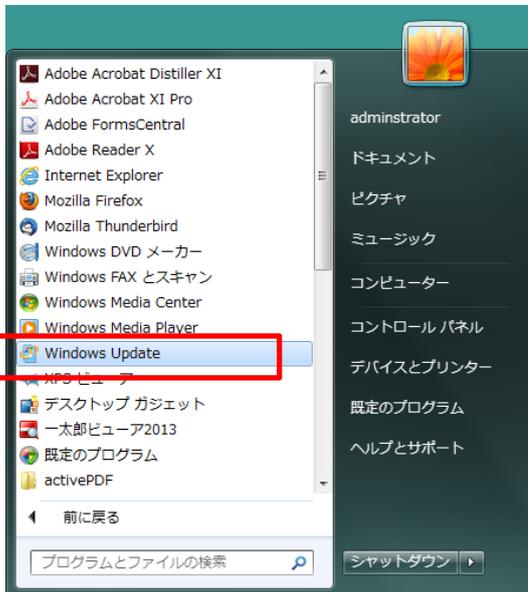
手順5
インストールが開始します。
インストールが完了するまで5分程かかります。



手順6
「閉じる」をクリックします。
これでアップグレードは完了です。



手順7
既存のOfficeを削除して新たにOffice2013をインストールした場合は、Windowsの再起動が必要です。



手順8
インストールしたOfficeを最新の状態に保つため、Windows Updateを実行します。



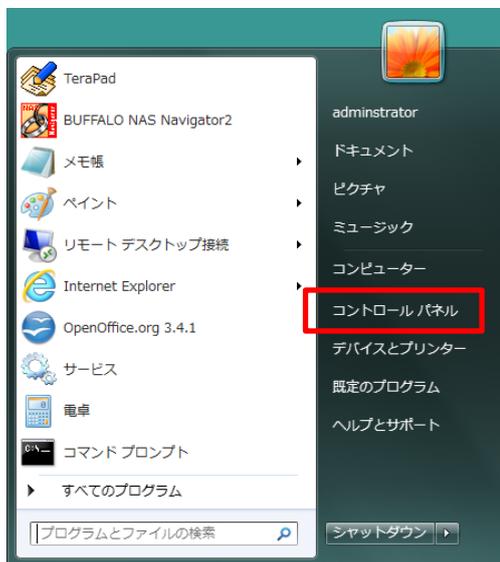
手順9
インストールの完了後は、ダウンロードしたZIP形式のファイルと解凍し作成されたフォルダを削除します。

STEP3-1 DNSサフィックスの追加

Officeの利用には、定期的なライセンス認証が必要です。
コンピュータを学内ネットワークに接続していれば、ライセンス認証は7日毎に自動的に実行されます。

学内ネットワークに接続していない等の理由で、最後にライセンス認証を実行した日から180日経過した場合、ライセンス認証の実行を促すメッセージが表示され、30日後にはOfficeが利用できなくなりますのでご注意ください。

ライセンス認証を自動的に実行するための設定を行います。

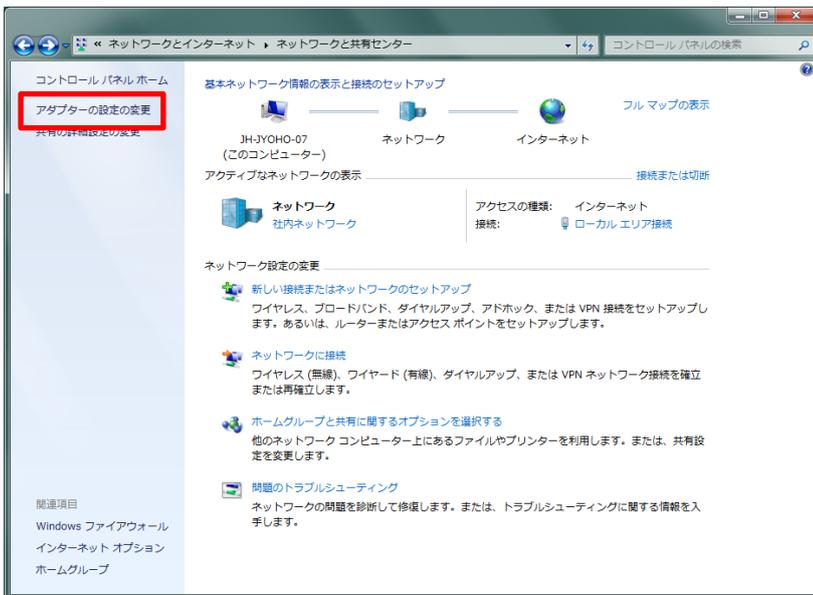


手順1
コンピュータに管理者権限
ユーザーでログインします。

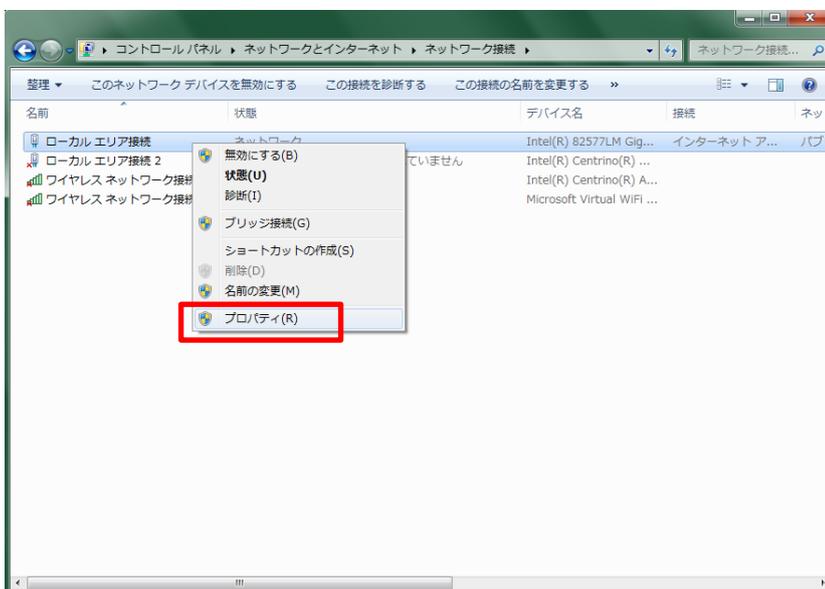
コントロールパネルを開きます。



手順2
「ネットワークの状態とタスク
の表示」をクリックします。
(または、「ネットワークと共
有センター」をクリックしま
す。)



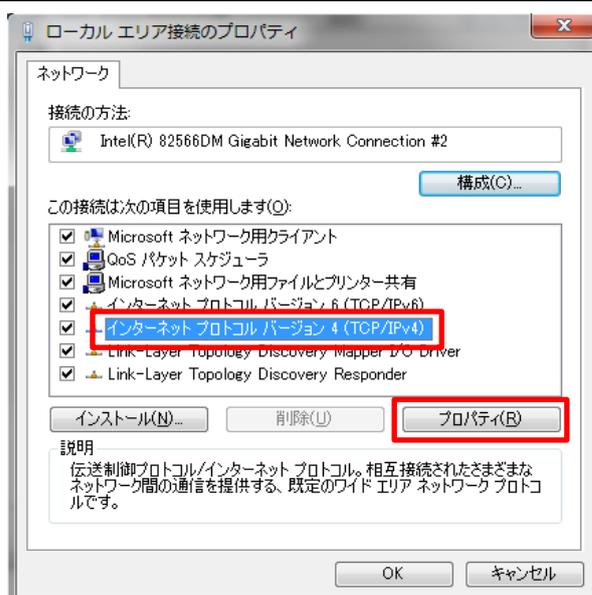
手順3
「アダプターの設定の変更」をクリックします。



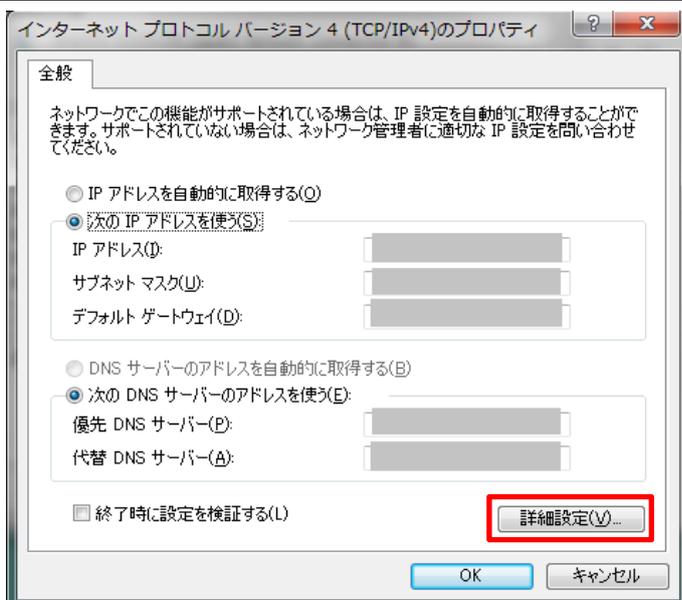
手順4
学内のネットワーク接続に用いるアダプター設定（「ローカルエリア接続」等）を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

その際、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合がありますが、「続行」ボタンをクリックします。

無線ネットワークと有線ネットワークの両方を利用する場合は、何れか一方のアダプターに設定することで、設定は両方に反映されます。

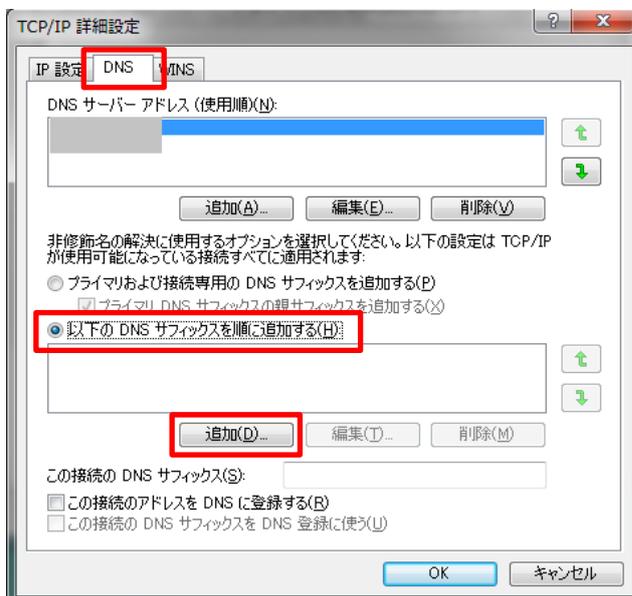


手順5
「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



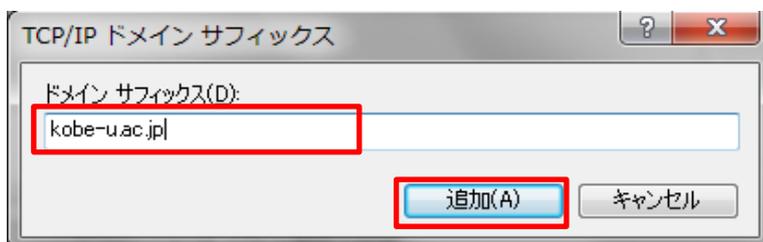
手順6
「詳細設定」をクリックします。

(補足)
左図でIPアドレスなどをグレーで伏せています。これは、現在入力されているIPアドレスなどを削除するように案内をしているものではありません。インストール作業では、IPアドレスなど現在の設定を変更する必要はありません。

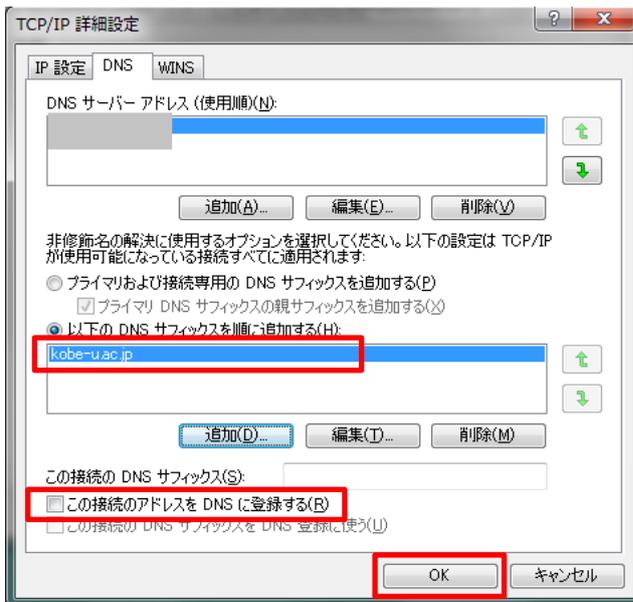


手順7
「DNS」タブをクリックします。

「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、その下にある「追加」をクリックします。



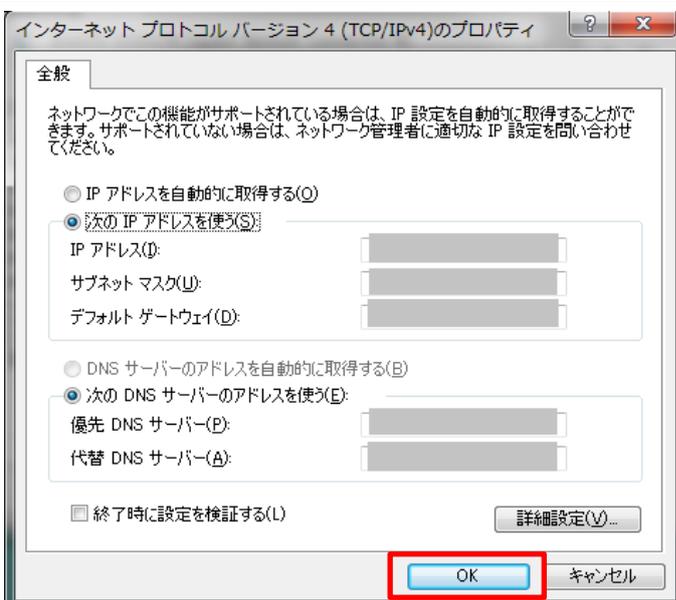
手順8
ドメインサフィックスに「kobe-u.ac.jp」を入力し、「追加」をクリックします。



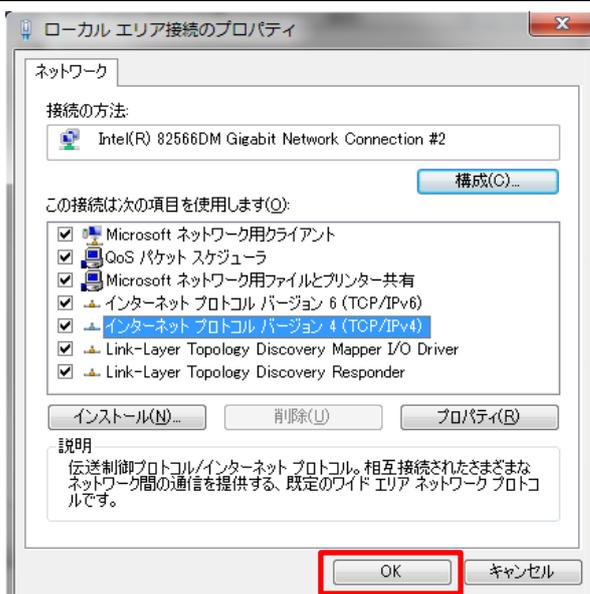
手順9
DNSサフィックスに「kobe-u.ac.jp」が追加されていることを確認します。

また、「この接続のアドレスをDNSに登録する」にチェックが入っていないことを確認します。

「OK」をクリックし、「TCP/IP 詳細設定」画面を閉じます



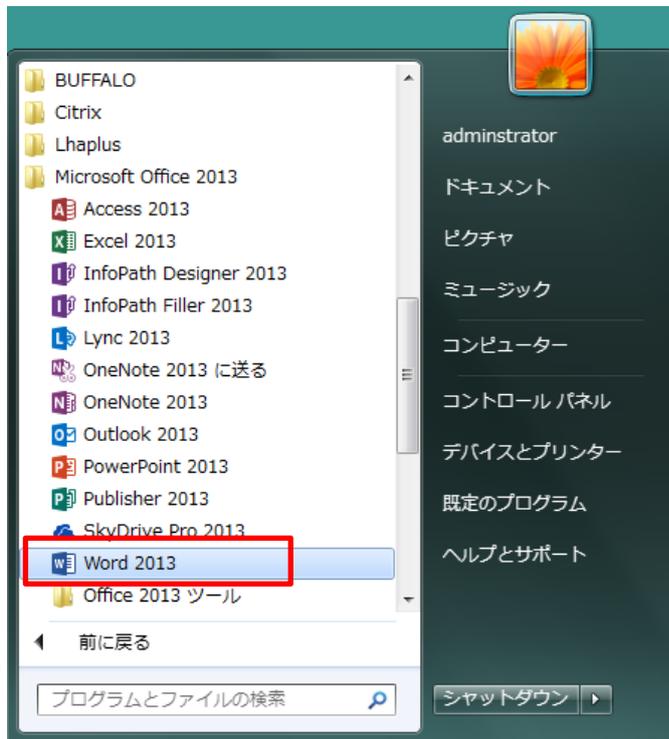
手順10
「OK」をクリックし、「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面を閉じます。



手順11
「OK」をクリックし、ネットワーク接続のプロパティ画面を閉じます。

これで設定は終了です。

STEP3-2 ライセンス認証の確認



手順1

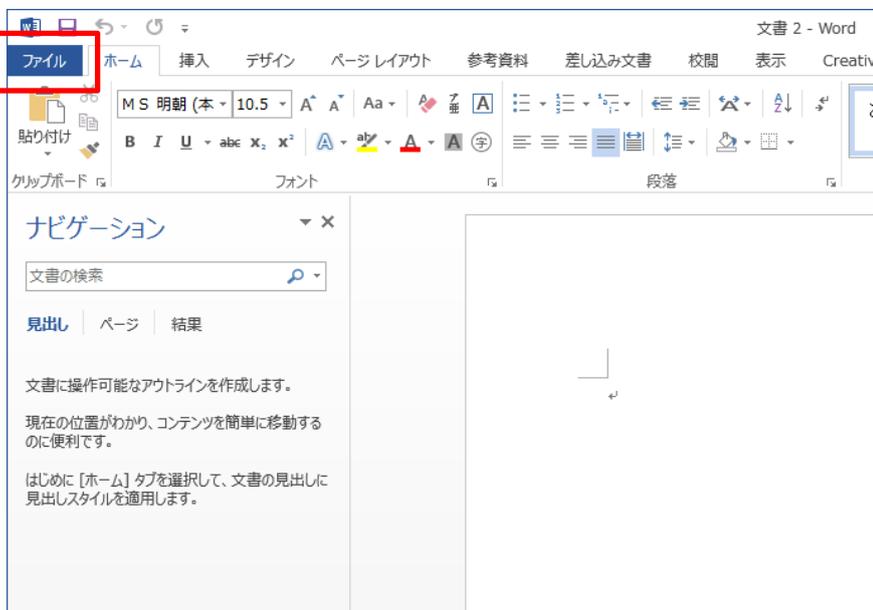
DNSサフィックスの設定完了後、コンピュータ本体の再起動を行います。

再起動後、Word等の任意のOfficeアプリケーションを起動します。

手順2

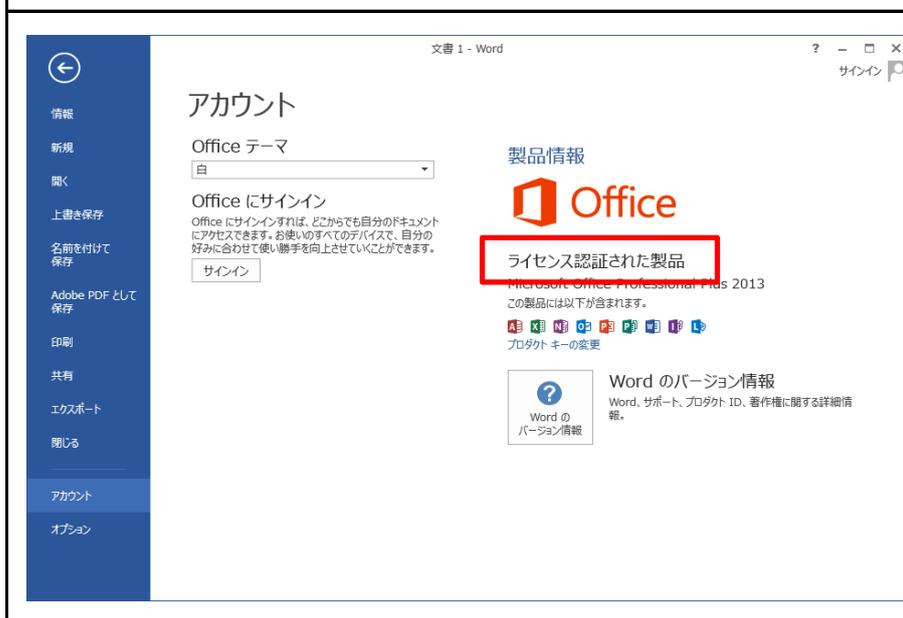
Officeが起動したら、任意のテンプレートフォーマットを選択し、ファイル作成画面に入ります。

「ファイル」をクリックします。





手順3
「アカウント」をクリックします。



手順4
左図のように、Office 2013が「ライセンス認証された製品」として表示されていれば、ライセンス認証が成功しています。